

## 14. その他の試験

### (1) マウスの肝毒性について

#### ①肝酵素誘導試験

ICR マウス（一群雌雄各 6 匹）を用いて、14 日間混餌 [原体：0、100、500 及び 2,500 ppm（雄：0、17、74 及び 376 mg/kg 体重/日、雌：0、20、92 及び 486 mg/kg 体重/日に相当）] 投与し、チアメトキサムの肝酵素誘導試験が実施された。

2,500 ppm 投与群の雌雄で肝比重量増加、CYP 濃度増加、GST 及びエポキシドヒドラーゼ活性増加及びテストステロン水酸化体増加が、雄で PROD 及び BROD 活性増加が、雌でラウリン酸 11-ヒドロキシラーゼ及び UDP-GT 活性増加が認められた。500 ppm 以上投与群の雌で EROD 及び BROD 活性増加が、100 ppm 以上投与群の雌で PROD 活性増加が認められた。

チアメトキサムの 500 ppm 以上の投与により、生体異物代謝酵素が中程度に誘導された。（参照 61）

#### ②肝細胞増殖能の検討

ICR マウス（一群雌雄各 5 匹）を用いて、混餌 [原体：0、100、500 及び 2,500 ppm（雄：0、15.8、71.6 及び 386 mg/kg 体重/日、雌：0、19.9、86.6 及び 463 mg/kg 体重/日に相当）] 投与し、各投与濃度とも投与 3、7、13、27 及び 57 日後に雌雄 5 匹をと殺し、チアメトキサムの肝細胞増殖能の検討試験が、BrdU 標識率を指標として実施された。

2,500 ppm 投与群雌雄で、肝比重量増加、肝細胞壊死及びアポトーシス、リポフスチンと考えられる色素沈着が、雌で肝細胞グリコーゲン蓄積/脂肪化及び BrdU 標識率増加が認められた。500 ppm 以上投与群の雄で肝細胞グリコーゲン蓄積/脂肪化及び BrdU 標識率増加が認められた。

チアメトキサムは、肝細胞障害に対する再生性反応を示すものと考えられた。（参照 62）

#### ③肝アポトーシスの組織化学的検査

「肝細胞増殖能の検討」（14-(1)-②）及び「18 ヶ月間発がん性試験（マウス）」（11-(3)）の 35 週中間と殺の肝臓を用い、TUNEL 法にて肝アポトーシスを同定した。

チアメトキサムの 500 ppm 及び 2,500 ppm の用量での 59 日間投与により、肝細胞アポトーシス増加が認められた。（参照 63）

#### ④マウスを用いた酸化ストレス関連項目（過酸化脂質と抗酸化物質）の測定

ICR マウス（一群雄 10 匹）を用いて、混餌 [原体：0、2,500 及び 5,000 ppm（0、448 及び 976 mg/kg 体重/日に相当）] 投与し、各投与濃度とも投与 7、14、

28 及び 60 日後に各 10 匹をと殺し、過酸化脂質と抗酸化物質の測定が実施された。

チアメトキサムの 2,500 または 5,000 ppm の用量での 60 日間投与により、GSH 濃度増加が認められた。過酸化物質である総 8-イソプロスタン F<sub>2a</sub> 濃度、マロンジアルデヒド濃度及び抗酸化物質である  $\alpha$ -トコフェロール濃度には変化は見られなかった。

チアメトキサムを雄マウスに 2,500 ppm 又は 5,000 ppm で 60 日間投与しても、肝臓において酸化ストレスの影響を示唆する変化は認められなかった。(参照 64)

## (2) ラットの精子に対する検討

ラットを用いた 2 世代繁殖試験において 10 ppm 以上の投与群で精子運動性の低下が観察されたことから、精子への影響について再評価した。SD ラット（一群雄 30 匹）を用いて、10 週間混餌（原体：0、10、30、1,000 及び 2,500 ppm（0、0.64、1.97、65.3 及び 165 mg/kg 体重/日に相当）] 投与し、ラットの精子に対する検討試験が実施された。

2,500 ppm 投与群で摂餌量減少、精巣比重量（左右）及び精巣上体尾部（右）比重量増加が認められた。精子の運動性、形態及び数のいずれもラットにおける正常値の範囲内であった。

2,500 ppm まで精子に対する影響は認められなかった。(参照 65)

## (3) ラットにおける免疫毒性試験（胸腺への影響）

ラットを用いた 2 世代繁殖試験において 30 ppm 以上投与群の F<sub>1</sub> 雌に胸腺重量の低下が観察されたことから、胸腺に及ぼす影響について免疫学的に検討した。SD ラット（一群雌雄各 12 匹）を用いて、P 雄に 4 週間、P 雌に 12 週間、F<sub>1</sub> 雌雄に 8 週間にわたり混餌（原体：0、30、1,000 及び 2,500 ppm：表 25 参照）投与し、ラット F<sub>1</sub> における免疫毒性試験（胸腺への影響）が実施された。

表 25 精子に対する検討試験（ラット）投与量一覧（mg/kg 体重/日）

		30 ppm	1,000 ppm	2,500 ppm
P 世代	雄	2.08	73.1	175
	雌	3.21	106	260
F <sub>1</sub> 世代	雄	3.44	116	295
	雌	3.28	108	260

ラット F<sub>1</sub> 胸腺に及ぼす影響を検討した結果、影響は認められなかった。(参照 66)

### Ⅲ. 食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて農薬「チアメトキサム」の食品健康影響評価を実施した。

ラットを用いた動物体内運命試験が実施され、血液中濃度は単回経口投与群で投与 1~4 時間後、静脈内投与群で投与 0.25 時間後に  $C_{max}$  に達し、 $T_{1/2}$  は単回経口投与群で 5~9 時間、静脈内投与群で 2~3 時間であった。チアメトキサムの消失は速く、組織中の  $T_{1/2}$  は 2.4~5.7 時間であり、低用量経口投与群では投与 7 日後の肝臓における総残留放射能濃度 (0.0033  $\mu\text{g/g}$ ) が最高であり、その他の組織では検出限界に近い値であった。主な排泄経路は尿中であり、投与後 24 時間以内に 77.4~95.2% TAR が尿に、2.4~6.2% TAR が糞中に排泄された。主要代謝物は B であり、尿からは 5.1~13.1% TAR、胆汁中から 0.2% TAR 検出された。主要代謝経路は、オキサジアジン環の開裂、グアニジン構造からの脱ニトロ化、グアニジン構造の加水分解、*N*-脱メチル化、グルタチオン抱合及びチアゾール環とオキサジアジン環間の開裂であると考えられた。

とうもろこし、水稻及びなしを用いた植物体内運命試験の結果、主要代謝物は、B であった。

土壌中運命試験が実施され、土壌中における推定半減期は好氣的湛水条件下の水相で 3.32~3.35 日、土壌相で 39.2~46.6 日、好氣的条件下で 254~353 日、嫌氣的条件下で 23.5~24.2 日であった。

加水分解及び水中光分解試験が実施され、チアメトキサムはアルカリ性条件下で加水分解が促進され、また、光照射により急速に分解した。主要分解物は加水分解試験では F、N 及び Q、水中光分解試験で W であった。

チアメトキサム及び分解物 B 及び C を分析対象化合物とした土壌残留試験(容器内及び圃場)が実施され、チアメトキサムの推定半減期は、容器内試験では約 10~89 日、圃場試験では約 1~48 日であり、分解物 B 及び C を含めた推定半減期は、容器内試験で約 35~144 日、圃場試験で約 1~50 日であった。

チアメトキサム及び代謝物 B を分析対象化合物とした作物残留試験が実施され、チアメトキサムの最高値は、最終散布 7 日後に収穫した茶(荒茶)の 9.78  $\text{mg/kg}$  であった。代謝物 B の最高値は、最終散布 3 日後に収穫したほうれんそうの 1.42  $\text{mg/kg}$  (チアメトキサムの 35%程度) であった。

急性経口  $LD_{50}$  はラットの雌雄で 1,560  $\text{mg/kg}$  体重、マウスの雄で 783  $\text{mg/kg}$  体重、雌で 964  $\text{mg/kg}$  体重であった。経皮  $LD_{50}$  はラットの雌雄で 2,000  $\text{mg/kg}$  体重超、吸入  $LC_{50}$  はラットの雌雄で 3.72  $\text{mg/L}$  超であった。代謝物 B の急性経口  $LD_{50}$  はラットの雌雄で 2,000  $\text{mg/kg}$  体重超であった。

急性神経毒性試験で得られた神経毒性に関する無毒性量は、ラットで 100  $\text{mg/kg}$  体重であった。

亜急性毒性試験で得られた無毒性量は、ラットで 17.6  $\text{mg/kg}$  体重/日、イヌで 8.23  $\text{mg/kg}$  体重/日であった。

亜急性神経毒性試験で得られた神経毒性に関する無毒性量は、ラットで 95.4 mg/kg 体重/日であった。

慢性毒性及び発がん性試験で得られた無毒性量はイヌで 4.05 mg/kg 体重/日、ラットで 21.0 mg/kg 体重/日、マウスで 2.63 mg/kg 体重/日であった。

マウスを用いた発がん性試験では、肝変異細胞巣、肝細胞腺腫や肝細胞癌など肝臓への影響が認められた。肝酵素誘導試験において、チアメトキサムの投与により、生体異物代謝酵素が中程度に誘導された。チアメトキサム投与により細胞分裂促進作用による肝細胞腫瘍が誘発されたものと考えられるが、持続的な細胞増殖活性の亢進であり、単細胞壊死や炎症性細胞浸潤が高頻度に観察されているので、チアメトキサムは細胞傷害作用も有すると考えられた。これらのことから、チアメトキサムの肝腫瘍の発生メカニズムは、細胞障害による二次的な細胞増殖の結果生じたプロモーション作用によるものと考えられた。

2 世代繁殖試験で得られた無毒性量は、ラットの親動物及び児動物で 1.84 mg/kg 体重/日であった。繁殖能に対する影響は認められなかった。

発生毒性試験で得られた無毒性量は、ラットの母動物で 30 mg/kg 体重/日、胎児で 200 mg/kg 体重/日、ウサギの母動物で 15 mg/kg 体重/日、胎児で 50 mg/kg 体重/日であった。催奇形性は認められなかった。

遺伝毒性試験は、細菌を用いた復帰突然変異試験、マウス及びラット肝初代培養細胞を用いた *in vitro* 不定期 DNA 合成試験、チャイニーズハムスター肺由来細胞を用いた遺伝子突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞を用いた染色体異常試験、マウスの骨髄細胞を用いた小核試験が実施され、試験結果は全て陰性であったので、チアメトキサムに遺伝毒性はないものと考えられた。また、代謝物 B の細菌を用いた復帰突然変異試験を実施したところ、試験結果は陰性であった。

チアメトキサム投与による影響は、主に血液及び肝臓に認められた。

各種試験結果から、農産物中の暴露評価対象物質をチアメトキサム（親化合物のみ）と設定した。

各試験における無毒性量及び最小毒性量は表 26 に示されている。

表 26 各試験における無毒性量及び最小毒性量

動物種	試験	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 <sup>5</sup>
ラット	90 日間亜急性毒性試験	雄：17.6 雌：92.5	雄：84.9 雌：182	雄：体重増加抑制等 雌：肝リンパ球組織球浸潤等
	90 日間亜急性神経毒性試験	雄：95.4 雌：216	雄：- 雌：-	毒性所見なし (神経毒性は認められない)
	2 年間慢性毒性/発がん性併合試験	雄：21.0 雌：50.3	雄：63.0 雌：155	雄：慢性腎症増加等 雌：Lym 減少等 (発がん性は認められない)
	2 世代繁殖試験	親動物・児動物： P 雄：1.84 P 雌：2.37 F <sub>1</sub> 雄：2.07 F <sub>1</sub> 雌：2.63	親動物・児動物： P 雄：63.3 P 雌：76.2 F <sub>1</sub> 雄：68.9 F <sub>1</sub> 雌：88.2	親動物：尿細管硝子滴沈着増加 児動物：体重増加抑制 (繁殖能に対する影響は認められない)
	発生毒性試験	母動物：30 児動物：200	母動物：30 児動物：750	母動物：体重増加抑制等 胎児：体重減少等 (催奇形性は認められない)
マウス	18 ヶ月間発がん性試験	雄：2.63 雌：3.68	雄：63.8 雌：87.6	雌雄：肝細胞腺腫増加等
ウサギ	発生毒性試験	母動物：15 胎児：50	母動物：50 胎児：150	母動物：体重増加抑制等 胎児：体重減少等 (催奇形性は認められない)
イヌ	90 日間亜急性毒性試験	雄：8.23 雌：9.27	雄：32.0 雌：33.9	雄：Glu 増加等 雌：PT 延長等
	1 年間慢性毒性試験	雄：4.05 雌：4.49	雄：21.0 雌：24.6	雌雄：BUN 増加等

-：最小毒性量は設定できなかった。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量の最小値がラットを用いた 2 世代繁殖試験の 1.84 mg/kg 体重/日であったので、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.018 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量 (ADI) と設定した。

ADI 0.018 mg/kg 体重/日  
 (ADI 設定根拠資料) 繁殖試験  
 (動物種) ラット  
 (期間) 2 世代  
 (投与方法) 混餌  
 (無毒性量) 1.84 mg/kg 体重/日  
 (安全係数) 100

<sup>5</sup>：備考に最小毒性量で認められた所見の概要を示す。

<別紙 1：代謝物/分解物略称>

略称	化学名
B	<i>N</i> -(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)- <i>N</i> <sup>2</sup> メチル- <i>N</i> <sup>2</sup> ニトロ-グアニジン (クロチアニジン)
C	3-(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)-5-メチル-[1,3,5]オキサジアジナン-4-イリ デンアミン
E	<i>N</i> -(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)- <i>N</i> <sup>2</sup> メチル-グアニジン
F	3-(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)-5-メチル-[1,3,5]オキサジアジナン-4-オン
G	1-(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-ウレア
M	<i>N</i> -(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)- <i>N</i> <sup>2</sup> ニトロ-グアニジン
N	1-(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)-3-ニトロ-ウレア
O	(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)-ウレア
Q	(2-クロロ-チアゾール-5-イル)-メチルアミン
U	ニトロ-(3-メチル-[1,3,5]オキサジアジナン-4-イリデン)-アミン
W	3-メチル-[1,3,5]オキサジアジナン-4-イリデン-アミン

<別紙 2：検査値等略称>

略称	名称
A/G 比	アルブミン/グロブリン比
ai	有効成分量
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (=グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (GOT))
Baso	好塩基球数
BrdU	5-ブロモ-2'-デオキシウリジン
BROD	ベンジルオキシレゾルフィン <i>O</i> -デベンチラーゼ
BUN	血液尿素窒素
CK	クレアチンキナーゼ
Chol	コレステロール
C <sub>max</sub>	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
Cre	クレアチニン
CYP	チトクローム P450
EROD	エトキシレゾルフィン <i>O</i> -デエチラーゼ
Glob	グロブリン
Glu	グルコース (血糖)
GSH	還元型グルタチオン
GST	グルタチオン <i>S</i> -トランスフェラーゼ
Hb	ヘモグロビン (血色素量)
Ht	ヘマトクリット値
LC <sub>50</sub>	半数致死濃度
LD <sub>50</sub>	半数致死量
Lym	リンパ球数
MC	メチルセルロース
MCH	平均赤血球血色素量
MCHC	平均赤血球血色素濃度
MCV	平均赤血球容積
Mon	単球数
Neu	好中球数
PHI	最終使用から収穫までの日数
PLT	血小板数
PROD	ペントキシレゾルフィン <i>O</i> -デペンチラーゼ
PT	プロトロンビン時間
RBC	赤血球数
T <sub>1/2</sub>	消失半減期
TAR	総投与 (処理) 放射能
TRR	総残留放射能
TUNEL	TdT-mediated dUTP-biotin nick end labeling
UDP-GT	ビリルビン抱合酵素 (ウリジン二リン酸グルクロニルトランスフェラーゼ)
WBC	白血球数

<別紙 3 : 作物残留試験成績>

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアチキチキ[A]		クロチアニジン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	平均値
水稻 (露地移植) [玄米] 1998-2002年	2	G:1.0 g ai/箱	1	125-146	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
	2	G:1.0g ai/箱 G:750g ai/ha SG:75g ai/ha	3	20-21	0.027	0.024	0.035	0.023	0.047
	2	G:1.0g ai/箱 SG:75g ai/ha	3	6-7	0.057	0.046	0.081	0.052	0.098
			3	13-14	0.080	0.049	0.092	0.058	0.106
3			20-21	0.039	0.035	0.066	0.047	0.082	
2	G:1.0g ai/箱 G:300g ai/ha SC:30g ai/ha	4	7	0.085	0.072	0.043	0.036	0.108	
4	14	0.102	0.089	0.074	0.059	0.149			
4	21	0.071	0.054	0.063	0.051	0.105			
水稻 (露地移植) [稲わら] 1998-2002年	2	G:1.0 g ai/箱	1	125-146	<0.040	<0.030	<0.050	<0.040	<0.070
	2	G:1.0g ai/箱 G:750g ai/ha SG:75g ai/ha	3	20-21	0.08	0.063*	<0.05	0.040*	0.103*
	2	G:1.0g ai/箱 SG:75g ai/ha	3	6-7	0.290	0.233	0.050	0.045*	0.278*
			3	13-14	0.170	0.115	0.020	0.038*	0.153*
3			20-21	0.100	0.085	<0.050	0.040*	0.125*	
2	G:1.0g ai/箱 G:300g ai/ha SC:30g ai/ha	4	7	1.870	1.17	0.080	0.060	1.228	
4	14	1.520	0.965	0.070	0.053	1.018			
4	21	0.530	0.318	0.050	0.038	0.355			
未成熟 とうもろこし [生食用子実] 2004年	2	SG:100-150g ai/ha	2	7	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			2	21	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			2	42	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
大豆 (露地) [乾燥子実] 2003年	2	SG:75-150g ai/ha	2	6-7	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			2	13-14	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			2	21	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
	2	SC:0.4g ai/kg(種子) G:300g ai/ha SG:75-150g ai/ha	4	6-7	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			4	13-14	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			4	21	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
いんげん (露地) [乾燥子実] 2001年	2	SG:100g ai/ha	3	7	0.009	0.006*	0.058	0.030*	0.036*
			3	14	0.013	0.007*	0.047	0.026*	0.033*
いんげん (露地) [乾燥子実] 2005年	2	SC:3.6g ai/kg(種子) G:300g ai/ha SG:87.5-100g ai/ha	5	7	<0.01	<0.01	<0.012	<0.022	<0.022
			5	14	<0.01	<0.01	<0.012	<0.022	<0.022
			5	21	<0.01	<0.01	0.012	0.022*	0.022*
ばれいしょ (露地) [塊茎] 1998年	2	G:450g ai/ha SG:100g ai/ha	4	14	0.095	0.041*	0.023	0.012*	0.053*
			4	21	0.102	0.045*	0.016	0.011*	0.055*
			4	28	0.040	0.021*	0.015	0.008*	0.029*
ばれいしょ (露地) [塊茎] 2005年	2	G:300g ai/ha SG:33.3g ai/ha	444	14	0.02	0.015*	0.02	0.013*	0.028*
				21	0.02	0.015*	0.02	0.013*	0.028*
				28	0.02	0.015*	0.01	0.01*	0.025*
さといも (露地) [塊茎] 2003年	2	G:300g ai/ha	2	30	0.150	0.080	<0.012	<0.009	0.090*
			2	37	0.060	0.037	<0.012	<0.009	0.046*
			2	45	0.100	0.051	<0.012	<0.009	0.060*
	2	SG:125g ai/ha	2	7	0.023	0.015*	<0.012	<0.009	0.024*
			2	14	0.022	0.014*	<0.012	<0.009	0.023*
			2	21	0.020	0.013*	<0.012	<0.009	0.022*
さといも (露地) [塊茎] 2003年	2	G:300g ai/ha SC:75g ai/ha	3	7	0.039	0.019*	<0.012	<0.009	0.028*
			3	14	0.025	0.015*	<0.012	<0.009	0.024*
			3	21	0.030	0.017*	<0.012	<0.009	0.026*
かんしょ	2	G:450g ai/ha	1	112-117	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011



作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアトキサム[A]		クロチアニン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	
(露地) [塊根] 1998年	2	G:450g ai/ha G:300g ai/ha	3	21	0.012	0.008*	<0.006	<0.006	0.014*
			3	28	0.009	0.007*	<0.006	<0.006	0.013*
			3	42	0.008	0.006*	<0.006	<0.006	0.012*
こんにゃくいも (露地) [塊根] 2005年	2	G:300g ai/ha	1	132	0.02	0.013*	<0.012	<0.012	0.025*
			1	139	0.02	0.013*	<0.012	<0.012	0.025*
			1	146	0.02	0.013*	<0.012	<0.012	0.025*
てんさい (露地) [根節] 2000年	2	SG:2 g ai/冊	1	150-156	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			1	157-163	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			1	164-170	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
だいこん (露地) [根部] 2002年	2	WP:2.8×10 <sup>-3</sup> g ai /種子	1	66	0.007	0.005*	<0.006	<0.006	0.011*
			1	73	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			1	80	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
	2	WP:2.8×10 <sup>-3</sup> g ai /種子 G:300g ai/ha SG:75g ai/ha	4	7	0.011	0.009	<0.006	<0.006	0.015
			4	14	0.008	0.008	<0.006	<0.006	0.014
			4	21	0.011	0.009	<0.006	<0.006	0.015
だいこん (露地) [葉部] 2002年	2	WP:2.8×10 <sup>-3</sup> g ai /種子	4	7	1.33	1.31	0.297	0.268	1.58
			4	14	0.708	0.663	0.239	0.228	0.891
			4	21	0.233	0.220	0.129	0.116	0.336
	2	G:300g ai/ha SG:75g ai/ha	5	7	0.251	0.227	0.161	0.143	0.370
			5	14	0.167	0.158	0.091	0.087	0.245
			5	21	0.120	0.116	0.071	0.066	0.182
はくさい (露地) [茎葉] 2001年	2	G:0.01g ai/株	1	48	0.011	0.008	0.006	0.006*	0.014*
			1	55	0.010	0.007	0.006	0.006*	0.013*
			1	62	0.008	0.007	0.006	0.006*	0.013*
			1	67	0.016	0.014	0.006	0.006*	0.020*
			1	74	0.015	0.013	0.006	0.006*	0.019*
	2	G:0.01g ai/株 SG:40-66.6g ai/ha	4	3	0.355	0.200	0.024	0.015*	0.215*
			4	7	0.074	0.048	0.010	0.007*	0.055*
			4	14	0.044	0.030	0.012	0.008*	0.038*
			4	21	0.035	0.025	0.008	0.007*	0.031*
			4	14	0.162	0.085	0.014	0.008*	0.093*
キャベツ (露地) [葉球] 2000年	2	G:0.01g ai/株 SG:100g ai/ha	4	3	0.311	0.165	0.035	0.014*	0.178*
			4	7	0.208	0.096	0.026	0.011*	0.107*
			4	14	0.162	0.085	0.014	0.008*	0.093*
こまつな (施設) [茎葉] 2003年	2	SG:100-350g ai/ha	2	3	2.46	1.45	0.422	0.256	1.70
			2	7	1.02	0.653	0.260	0.157	0.811
			2	14	0.210	0.190	0.133	0.096	0.286
	2	G:300g ai/ha SG:100-350g ai/ha	3	3	2.15	1.67	0.470	0.299	1.97
			3	7	1.62	1.07	0.400	0.243	1.31
			3	14	0.390	0.286	0.160	0.111	0.397
みずな (露地) [茎葉] 2004年	2	G:300g ai/ha SG:92.6-150g ai/ha	3	3	1.19	1.06	0.21	0.15	1.21
			3	7	0.35	0.25	0.06	0.06	0.31
			3	14	0.17	0.11	<0.06	<0.06	0.17*
チンゲンサイ (施設) [茎葉] 2004年	2	G:0.075g/1L 培土 G:300g ai/ha SG:100-125g ai/ha	4	3	2.87	1.51	0.39	0.20	1.71
			4	7	1.80	0.88	0.36	0.19	1.07
			4	14	0.70	0.43	0.22	0.14	0.57
ブロッコリー (露地) [花蕾]	2	G:0.01g ai/株	1	56-59	0.066	0.033	<0.006	<0.006	0.039*
			1	58-61	0.052	0.030	<0.006	<0.006	0.036*
			1	62-65	0.037	0.026	<0.006	<0.006	0.032*

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアトキサム[A]		クロチアニン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	平均値
2001年	2	G:0.01g ai/株 SG:100g ai/ha	4	1	0.786	0.530	0.162	0.058	0.588
			4	3	0.621	0.320	0.096	0.049	0.370
			4	7	0.337	0.221	0.076	0.045	0.266
			4	14	0.081	0.067	0.016	0.012	0.080
レタス (施設) [茎葉] 2000年	2	G:0.005g ai/株 SG:125-150g ai/ha	3	7	0.630	0.432	0.024	0.018	0.449
			3	14	0.536	0.295	0.029	0.018	0.312
サラダ菜 (施設) [茎葉] 2004年	1	G:0.005g ai/株	1	42	1.27	1.26	<0.06	<0.06	1.32*
			1	46	1.37	1.36	<0.06	<0.06	1.42*
			1	53	0.65	0.64	<0.06	<0.06	0.70*
			1	59	0.34	0.34	<0.06	<0.06	0.40*
			1	63	0.27	0.26	<0.06	<0.06	0.32*
	1	70	0.41	0.40	<0.06	<0.06	0.46*		
2	G:0.005g ai/株 SG:150g ai/ha	3	7	8.90	7.09	0.12	0.11	7.20	
		3	14	4.15	3.61	0.11	0.09	3.70	
リーフレタス (露地) [茎葉] 2004年	2	G:0.005g ai/株	1	61-62	0.18	0.12*	<0.06	<0.06	0.18*
			1	65-66	0.28	0.17*	<0.06	<0.06	0.23*
			1	72-73	0.11	0.08*	<0.06	<0.06	0.14*
リーフレタス (露地) [茎葉] 2004年	2	G:0.005g ai/株 SG:100-150g ai/ha	3	7	2.64	1.87	0.12	0.09	1.96
			3	14	1.77	1.05	0.08	0.07*	1.22*
ねぎ (露地) [茎葉] 2001年	2	G:45g ai/ha	1	69	0.081	0.071	0.027	0.022	0.093
			1	77	0.059	0.056	0.016	0.016	0.072
			1	84	0.025	0.022	0.007	0.007	0.028
			1	117	0.094	0.072	0.026	0.020	0.091
			1	124	0.030	0.023	0.009	0.008*	0.031*
	1	131	0.034	0.023	0.012	0.009*	0.032*		
	2	G:45g ai/株 SG:200g ai/ha	4	3	0.575	0.423	0.091	0.060	0.483
			4	6-7	0.247	0.190	0.063	0.045	0.235
			4	14	0.186	0.121	0.034	0.028	0.149
			4	21	0.080	0.067	0.020	0.015	0.082
4			21	0.080	0.067	0.020	0.015	0.082	
わけぎ (露地) [茎葉] 2005年	2	G:450g ai/ha	1	23	0.63	0.61	0.07	0.07	0.68
			1	30	0.32	0.32	<0.06	<0.06	0.38*
			1	36	0.16	0.16	<0.06	<0.06	0.22*
			1	63	0.05	0.05	<0.06	<0.06	0.11*
			1	70	0.05	0.05	<0.06	<0.06	0.11*
	1	77	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11		
	2	G:450g ai/ha SG:100-150g ai/ha	5	3	3.96	2.62	0.23	0.16	2.78
			5	7	2.84	1.74	0.25	0.16	1.90
			5	14	1.64	0.94	0.16	0.11*	1.05*
	あさつき (露地) [可食部] 2006年	2	G:450g ai/ha	1	23	0.08	0.08	<0.06	<0.06
1				30	0.07	0.07	<0.06	<0.06	0.13*
1				36	0.06	0.06	<0.06	<0.06	0.12*
1				46	0.29	0.29	0.06	0.06	0.35
1				53	0.31	0.31	<0.06	<0.06	0.37*
1		60	0.28	0.28	<0.06	<0.06	0.34*		
2		G:450g ai/ha SG:75g ai/ha	5	3	2.29	1.57	0.21	0.13	1.70
			5	7	1.72	1.15	0.16	0.10*	1.25*
			5	14	1.80	1.07	0.21	0.12*	1.19*

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアトキサム[A]		クロチアニン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	平均値
セルリー (施設) [茎葉] 2004年	2	G:0.01g ai/株	2	75	0.04	0.07*	<0.02	<0.13	0.20*
			2	82	<0.1	<0.07	<0.02	<0.13	<0.20
			22	89	<0.1	<0.07	<0.02	<0.13	<0.20
			2	98	0.20	0.20	<0.02	<0.13	0.33*
			2	105	0.3	0.19	<0.02	<0.13	0.32*
			2	112	0.31	0.29	<0.02	<0.13	0.42*
トマト (施設) [果実] 1999-2002年	2	G:0.01g ai/株	1	44-56	0.020	0.013	0.008	0.008*	0.021*
	5	G:0.01g ai/株 SG:66.6-100g ai/ha	3	1	0.082	0.057	0.022	0.015	0.071
			3	13	0.107	0.066	0.029	0.020	0.086
			4	1	0.154	0.103	0.044	0.027	0.130
			4	3	0.157	0.119	0.037	0.028	0.147
4	7	0.140	0.073	0.026	0.018	0.092			
ミニトマト (露地) [果実] 2004年	2	G:0.01g ai/株	1	60-72	0.06	0.03*	0.03	0.03*	0.06*
	2	G:0.01g ai/株 SG:150-180g ai/ha	22	1	0.44	0.21	0.08	0.07	0.28
			2	7	0.26	0.15	0.12	0.10	0.25
			3	14	0.18	0.11	0.09	0.08	0.19
			3	1	0.79	0.43	0.18	0.16	0.59
3	7	0.44	0.28	0.22	0.20	0.48			
3	14	0.39	0.25	0.18	0.17	0.42			
ピーマン (施設) [果実] 1999年	2	G:0.01g ai/株	1	42	0.023	0.022	0.009	0.009	0.031
	5	G:0.01g ai/株 SG:60-100g ai/ha	1	82	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			3	1	0.420	0.340	0.051	0.044	0.383
			3	13	0.277	0.196	0.019	0.018	0.214
			4	1	0.448	0.385	0.066	0.047	0.432
4	3	0.329	0.285	0.061	0.040	0.325			
4	7	0.230	0.175	0.056	0.039	0.214			
なす (施設) [果実] 1998年	2	G:0.01g ai/株	1	97-108	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
	4	G:0.01g ai/株 SG:66.6-125g ai/ha	3	1	0.125	0.058	0.006	0.006*	0.064*
			4	1	0.107	0.074	<0.006	<0.006	0.080*
			4	3	0.084	0.049	<0.006	<0.006	0.055*
4	7	0.042	0.023	<0.006	<0.006	0.029*			
ししとう (施設) [果実(へたを除く)] 2004年	2	G:0.005g ai/株 SG:50-83.3g ai/ha	4	1	0.61	0.51	0.05	0.05	0.56
			4	3	0.54	0.50	0.09	0.08	0.58
			4	7	0.21	0.14	0.05	0.05	0.19
とうがらし (施設) [果実(へたを除く)] 2006年	2	G:0.005g ai/株 SG:50-100g ai/ha	4	1	0.79	0.55	0.20	0.11	0.66
			4	3	0.54	0.38	0.19	0.11	0.49
			4	7	0.41	0.28	0.16	0.10	0.38
きゅうり (施設) [果実] 1998年	2	G:0.005g ai/株	1	34-43	0.014	0.006	<0.006	<0.006	0.012*
	2	SG:69.3-83.3g ai/ha	2	1	0.114	0.085	0.007	0.006	0.091
	2	G:0.005g ai/株 SG:75-104g ai/ha	3	1	0.174	0.139	0.012	0.009	0.149
			4	1	0.147	0.133	0.009	0.008	0.142
			4	3	0.124	0.114	0.009	0.008	0.122
4	7	0.074	0.067	0.007	0.007	0.073			
すいか (施設) [果実] 2000年	2	G:0.01g ai/株 SG:38-136.2g ai/ha	4	1	0.047	0.028	0.009	0.007*	0.034*
			4	3	0.042	0.023	0.008	0.007*	0.030*
			4	7	0.033	0.021	0.008	0.007*	0.028*
メロン (施設)	2	G:0.01g ai/株	1	83-87	0.009	0.008	<0.006	<0.006	0.014*

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアトキサム[A]		クロチアニン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	平均値
[果実] 1998-2000年	6	G:0.01g ai/株 SG:100-150g ai/ha	4	1	0.033	0.023	0.006	0.006*	0.029*
			4	3	0.024	0.025	<0.006	0.006*	0.031*
			4	7	0.047	0.028	0.006	0.006*	0.034*
			4	14	0.049	0.037	0.010	0.007*	0.044*
			4	21	0.067	0.037	0.013	0.009	0.046
			4	28	0.051	0.032	0.016	0.010	0.042
			4	35	0.045	0.033	0.016	0.012	0.045
			3	3	0.008	0.007	<0.006	<0.006	0.013*
			3	7	0.010	0.008	<0.006	<0.006	0.014*
			3	14	0.008	0.008	<0.006	<0.006	0.014*
にがうり (施設) [果実] 2004年	2	G:0.01g ai/株 SG:50-101g ai/ha	4	7	0.17	0.12	0.02	0.02*	0.14*
食用へちま (施設) [果実] 2005年	2	SG:90-100g ai/ha	3	1	0.11	0.08	<0.02	<0.02	0.10*
			3	3	0.10	0.10	<0.02	<0.02	0.12*
			3	7	0.03	0.03	<0.02	<0.02	0.05*
ほうれんそう (露地) [茎葉] 2003年	2	SG:75-150g ai/ha	2	3	2.62	1.54	0.910	0.719	2.25
			2	7	1.10	0.622	0.787	0.604	1.23
			2	14	0.080	0.059*	0.282	0.232	0.293*
	2	G:300g ai/ha SG:100-150g ai/ha	3	3	4.08	2.17	1.42	0.982	3.15
			3	7	1.01	0.623	0.870	0.696	1.33
			3	14	0.260	0.116*	0.530	0.314	0.433*
おくら (露地) [果実(へたを除く)] 2005年	2	SG:75-105g ai/ha	3	1	0.30	0.26	<0.01	<0.01	0.27*
			3	3	0.14	0.13	0.01	0.01	0.14
			3	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.03*
未成熟いんげん (施設) [さや] 2001年	2	SG:50-100g ai/ha	3	1	0.071	0.058	0.139	0.106	0.164
			3	7	0.005	0.005*	0.060	0.050	0.056*
			3	14	0.005	0.005*	0.012	0.012	0.017*
えだまめ (露地) [さや] 2003年	2	SG:100-200g ai/ha	2	7	0.062	0.039	0.026	0.021	0.060
			2	14	0.017	0.011	0.014	0.010*	0.021*
			2	21	0.006	0.005*	<0.006	<0.006	0.011*
	2	SC:0.4g ai/kg(種子) G:300g ai/ha SG:100-200g ai/ha	4	7	0.091	0.050	0.034	0.027	0.077
			4	14	0.025	0.015	0.020	0.012*	0.027*
			4	21	0.012	0.009	0.009	0.007	0.016
れんこん (露地) [塊茎] 2002年	4	G:300g ai/ha	2	14	0.008	0.006*	<0.006	<0.006	0.012*
			2	21	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			2	28	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			2	35	<0.005	<0.005	<0.006	<0.006	<0.011
			3	14	0.007	0.006	0.006*	0.006	0.012
			3	21	<0.005	<0.005	<0.006	<0.007	<0.011
			3	28	<0.005	<0.005	<0.006	<0.007	<0.011
			3	35	<0.005	<0.005	<0.006	<0.007	<0.011
みょうが (施設) [花穂] 2004年	2	SG:150g ai/ha	3	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05
			3	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05
			3	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05
エンサイ (施設) [茎葉] 2004年	2	SG:100g ai/ha	3	3	2.98	2.53	0.15	0.13	2.66
			3	7	1.23	0.94	0.08	0.08	1.02
			3	14	0.43	0.25	0.05	0.04*	0.29*
ウコギ (露地) [塊茎] 2004年	2	SG:500g ai/ha	2	3	0.5	0.3*	<0.3	<0.3	0.6*
			2	7	<0.2	<0.2	<0.3	<0.3	<0.5
			2	14	<0.2	<0.2	<0.3	<0.3	<0.5

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアトキサム[A]		クロアジニン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	平均値
モロヘイヤ (施設) [茎葉] 2004年	2	SG:100-106g ai/ha	3 3	7 14	0.67 0.11	0.51 0.08*	0.50 0.18	0.45 0.15	0.96 0.23*
セージ (施設) [茎葉] 2005年	2	SG:100g ai/ha	3	21	0.55	0.51	0.14	0.11	0.62
温州みかん (施設) [果肉] 1998-2002年	4	SG:250-500g ai/ha	3	14	0.100	0.049	0.025	0.014	0.063
			3	21	0.097	0.047	0.021	0.014*	0.061*
			3	28	0.087	0.041*	0.026	0.014*	0.055*
			2	21	0.016	0.008*	0.008	0.007*	0.014*
			2	28	0.018	0.008*	0.008	0.007*	0.015*
	2	WDG:250-500g ai/ha	3 3 3 3	14 21 28 35	0.053 0.042 0.037 0.036	0.032 0.036 0.028 0.026	0.009 0.010 0.013 0.013	0.007* 0.009 0.009 0.009*	0.039 0.045 0.037 0.035*
温州みかん (施設) [果皮] 1998-2002年	4	SG:250-500g ai/ha	3	14	2.01	1.04	0.550	0.337	1.38
			3	21	1.530	0.881	0.600	0.373	1.25
			3	28	0.960	0.597	0.610	0.329	0.926
			2	21	0.580	0.473	0.290	0.182	0.655
			2	28	0.460	0.331	0.210	0.139	0.469
	2	WDG:250-500g ai/ha	3 3 3 3	14 21 28 35	1.360 0.090 0.660 0.770	1.110 0.792 0.462 0.448	0.430 0.360 0.340 0.280	0.338 0.308 0.272 0.240	1.45 1.10 0.734 0.688
夏みかん (露地) [果肉] 1998年	2	SG:250g ai/ha	3	14	0.024	0.017	0.008	0.007	0.023
			3	28	0.019	0.013	0.006	0.006*	0.020*
			3	42	0.018	0.014	0.011	0.009	0.022
			3	49	0.014	0.012	0.009	0.007	0.019
			3	60-64	0.010	0.009	0.012	0.008	0.017
			2	28	0.013	0.008*	0.006	0.006*	0.014*
			2	42	0.007	0.006	<0.006	<0.006	0.012*
			2	49	0.007	0.006	<0.006	<0.006	0.012*
			2	60-64	0.005	0.005*	<0.006	<0.006	0.011*
夏みかん (露地) [果皮] 1998年	2	SG:250g ai/ha	3	14	0.560	0.400	0.150	0.100	0.500
			3	28	0.340	0.288	0.140	0.130	0.418
			3	42	0.250	0.200	0.150	0.120	0.320
			3	49	0.220	0.195	0.160	0.135	0.330
			3	60-64	0.150	0.125	0.130	0.108	0.233
			2	28	0.210	0.178	0.080	0.060	0.238
			2	42	0.200	0.130	0.090	0.063	0.193
			2	49	0.140	0.128	0.070	0.053	0.180
			2	60-64	0.100	0.078	0.090	0.055	0.133
夏みかん (露地) [全果実] 1998年	2	SG:250g ai/ha	3	14	0.161	0.123	0.045	0.032	0.154
			3	28	0.103	0.088	0.044	0.040	0.129
			3	42	0.088	0.068	0.052	0.040	0.107
			3	49	0.071	0.063	0.048	0.043	0.106
			3	60-64	0.048	0.039	0.041	0.034	0.073
			2	28	0.067	0.054	0.028	0.021	0.075
			2	42	0.054	0.038	0.030	0.021	0.059
			2	49	0.043	0.039	0.025	0.019	0.058
			2	60-64	0.034	0.025	0.032	0.020	0.045
夏みかん (露地) [果実全体(へたを除く)] 2004年	2	SG:300-612g ai/ha	3	14	0.34	0.22	0.02	0.02*	0.24*
			3	21	0.50	0.23	0.04	0.03	0.26
			3	28	0.37	0.21	0.02	0.02	0.23
			3	45	0.17	0.15	0.04	0.04	0.19
すだち (露地) [果実] 1998年	1	SG:250g ai/ha	3	14	0.040	0.040	0.045	0.044	0.084
			3	28	0.019	0.019	0.038	0.038	0.057
			3	42	0.011	0.010	0.024	0.024	0.034

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアトキサム[A]		クロチアニン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	平均値
すだち (露地) [果実] 2004年	1	SG:250g ai/ha	3	14	0.13	0.13	0.08	0.08	0.21
			3	21	0.09	0.09	0.07	0.07	0.16
			3	28	0.07	0.07	0.07	0.07	0.14
			3	45	0.03	0.03	0.06	0.06	0.09
かぼす (露地) [果実] 1998年	1	SG:250g ai/ha	3	14	0.058	0.058	0.012	0.012	0.070
			3	28	0.014	0.014	0.011	0.011	0.025
			3	42	0.013	0.013	0.007	0.007	0.020
かぼす (露地) [果実] 2004年	1	SG:250g ai/ha	3	14	0.05	0.05	0.02	0.02	0.07
			3	21	0.04	0.04	0.02	0.02	0.06
			3	28	0.03	0.03	0.02	0.02	0.05
			33	45	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03
ゆず (露地) [果実] 1998年	1	SG:250g ai/ha	3	14	0.098	0.097	0.075	0.074	0.171
			3	28	0.054	0.054	0.062	0.062	0.116
			3	42	0.035	0.035	0.056	0.056	0.091
りんご (露地) [果実] 2000-2002年	2	SG:250-350g ai/ha	2	7	0.064	0.053	0.012	0.008*	0.061*
			2	14	0.058	0.038	0.006	0.006*	0.044*
			2	21	0.053	0.050	0.008	0.007*	0.058*
			2	28	0.031	0.019	<0.006	<0.006	0.025*
	2	WDG:250-350g ai/ha	2	7	0.081	0.052	<0.006	<0.006	0.058*
			2	14	0.051	0.042	<0.006	<0.006	0.048*
			2	21	0.050	0.042	<0.006	<0.006	0.048*
			2	28	0.088	0.048	0.007	0.007*	0.055*
日本なし (露地) [果実] 1999-2003年	4	SG:150-200g ai/ha	3	1	0.250	0.163	0.033*	0.030*	0.193*
			3	3	0.330	0.128	0.040	0.032*	0.160*
			3	7	0.260	0.105	0.040	0.035*	0.140*
			3	14	0.080	0.042	0.050	0.031*	0.086*
			3	21	0.035	0.034	0.020	0.018	0.052
			3	28	0.033	0.022	0.016	0.012	0.035
もも (露地) [果肉] 1998-2003年	2	SG:175-200g ai/ha	3	14	0.050	0.027	0.080	0.063	0.090
			3	17-21	0.060*	0.024*	0.095	0.053	0.077*
			3	24-28	0.023*	0.012*	0.095	0.057	0.069*
	2	G:100 g ai/樹	1	30	<0.020	<0.015	<0.030	<0.021	<0.036
			3	1	0.140	0.080	0.117	0.071	0.151
			3	3	0.140	0.105	0.094	0.076	0.181
もも (露地) [果皮] 1998-2003年	2	SG:175-200g ai/ha	3	14	0.210	0.138	0.320	0.223	0.360
			3	17-21	0.120	0.105	0.300	0.170	0.278
			3	24-28	0.060	0.050	0.220	0.140	0.190
	2	G:100 g ai/樹	1	30	<0.100	<0.075	<0.120	<0.090	<0.165
			3	1	2.69	1.84	0.710	0.493	2.34
			3	3	1.19	1.09	0.590	0.568	1.65
すもも (露地) [果実] 2006年	2	SG:150-250g ai/ha	3	7	0.03	0.03*	<0.02	<0.02	0.05*
			3	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			2	7	1.09	0.575	0.222	0.157	0.731
			2	14	0.577	0.315	0.210	0.164	0.479
おうとう (露地) [果実] 2000年	2	SG:200-300g ai/ha	2	21	0.612	0.273	0.287	0.142	0.415
			2	7	1.42	0.688	0.150	0.103	0.792
			2	14	1.30	0.558	0.168	0.117	0.675

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	圃場数	剤型 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残 留 値 (mg/kg)				
					平均				
					チアメトキサム[A]		クロチアニジン[B]		合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	平均値
いちご (施設) [果実] 2000年	2	G:0.01g ai/株	1	92	0.014	0.012	<0.006	<0.006	0.018*
			1	99	0.011	0.010	<0.006	<0.006	0.016*
			1	106	0.013	0.011	<0.006	<0.006	0.017*
			1	115	0.009	0.008	<0.006	<0.006	0.014*
			1	125	<0.005	0.005*	<0.006	<0.006	0.011*
			1	132	<0.005	0.005*	<0.006	<0.006	0.011*
			1	139	<0.005	0.005*	<0.006	<0.006	0.011*
	2	G:0.01g ai/株 SG:100-125g ai/ha	4	1	0.828	0.592	0.012	0.009	0.601
			4	3	0.784	0.517	0.012	0.009	0.526
			4	7	0.636	0.389	0.012	0.009	0.398
ぶどう (施設) [果実] 2000年	2	SG:150-250g ai/ha	2	7	0.819	0.603	0.087	0.051	0.654
			2	14	0.990	0.643	0.088	0.072	0.715
			2	21	0.705	0.486	0.112	0.076	0.562
			2	28	0.605	0.334	0.147	0.078	0.412
かき (露地) [果実] 2000年	2	SG:250g ai/ha	3	3	0.320	0.203	0.019	0.012	0.216
			3	7	0.266	0.154	0.014	0.012	0.166
			3	14	0.213	0.134	0.019	0.015	0.149
			3	21	0.203	0.127	0.022	0.013	0.140
バナナ (露地) [果実] 2005年	2	SG:100g ai/ha	3	7	0.19	0.19	<0.02	<0.02	0.21*
			3	14	0.28	0.21	<0.02	<0.02	0.23*
			3	21	0.17	0.12	<0.02	<0.02	0.14*
グアバ (露地) [果実] 2005年	2	SG:100-207g ai/ha	2	7	0.03	0.03*	<0.02	<0.02	0.05*
			2	14	0.02	0.02*	<0.02	<0.02	0.04*
			2	21	0.02	0.02*	<0.02	<0.02	0.04*
マンゴー (露地) [果実] 2006年	2	SG:84-150g ai/ha	2	14	0.03	0.03	0.04	0.03	0.06
			2	21	0.01	0.01*	0.05	0.04	0.05*
			2	28	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.03*
アセロラ (露地) [果実] 2005年	2	SG:83-278g ai/ha	2	7	0.22	0.14	0.11	0.07*	0.21*
			2	14	0.11	0.07*	0.08	0.06*	0.13*
			2	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.08
いちじく (露地) [果実] 2003年	2	SG:165-250g ai/ha	2	1	0.570	0.423	0.140	0.110*	0.520*
			2	3	0.340	0.255	0.100	0.080*	0.335*
			2	7	0.200	0.183*	0.120	0.085*	0.268*
			2	14	0.150	0.147*	0.090	0.075*	0.222*
茶 (露地) [荒茶] 1998-2002年	2	SG:100g ai/ha	1	7	7.42	4.27	0.290	0.180	4.448
			1	14	2.45	1.73	0.130	0.093	1.825
			1	21	0.920	0.810	0.060	0.060	0.870
	2	WDG:100g ai/ha	1	7	9.78	6.04	0.200	0.145	6.185
			1	14	2.87	1.59	0.130	0.093*	1.650*
			1	21	1.53	0.913	0.080*	0.065*	0.960*
茶 (露地) [浸出液] 1998-2002年	2	SG:100g ai/ha	1	7	6.31	3.81	0.270	0.170	3.980
			1	14	1.73	1.29	0.130	0.080	1.370
			1	21	0.710	0.690	0.080	0.060	0.750
	2	WDG:100g ai/ha	1	7	8.52	5.61	0.180	0.135	5.740
			1	14	2.89	1.63	0.120	0.090	1.715
			1	21	1.22	0.800	0.060	0.060	0.860

注) G : 粒剤、SG : 顆粒水溶剤、WP : 水和剤、WDG : 顆粒水和剤、SC : フロアブル  
・一部に定量限界未満を含むデータの平均を計算する場合は定量限界値を検出したものとして計算し、\*印を付した。  
・全てのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。  
・クロチアニジンの分析値はチアメトキサムに換算して記載した。  
換算係数は、チアメトキサム/クロチアニジン=1.17

<別紙 4 : 推定摂取量>

作物名	残留値 mg/kg	国民平均 (体重:53.3 kg)		小児(1~6歳) (体重:15.8 kg)		妊婦 (体重:55.6 kg)		高齢者(65歳以上) (体重:54.2 kg)	
		ff g/人/日	摂取量 μg/人/日	ff g/人/日	摂取量 μg/人/日	ff g/人/日	摂取量 μg/人/日	ff g/人/日	摂取量 μg/人/日
米	0.089	185.1	16.47	97.7	8.70	139.7	12.43	188.8	16.80
小豆 (いんげん)	0.007	1.4	0.01	0.5	0.00	0.1	0.00	2.7	0.02
ばれいしょ	0.045	36.6	1.65	21.3	0.96	39.8	1.79	27.0	1.22
さといも類	0.080	11.6	0.93	5.7	0.46	7.9	0.63	17.3	1.38
かんしょ	0.008	15.7	0.13	17.7	0.14	13.8	0.11	16.8	0.13
こんにゃくい も	0.013	12.9	0.17	5.7	0.07	11.0	0.14	13.4	0.17
だいこん類 (根)	0.025	45.0	1.13	18.7	0.47	28.7	0.72	58.5	1.46
だいこん類 (葉)	1.31	2.2	2.88	0.5	0.66	0.9	1.18	3.4	4.45
はくさい	0.20	29.4	5.88	10.3	2.06	21.9	4.38	29.9	5.98
キャベツ	0.165	22.8	3.76	9.8	1.62	22.9	3.78	23.1	3.81
こまつな	1.67	4.3	7.18	2.0	3.34	1.6	2.67	4.3	7.18
きょうな	1.06	0.3	0.32	0.1	0.11	0.1	0.11	0.3	0.32
チンゲンサイ	1.51	1.4	2.11	0.3	0.45	1.0	1.51	1.9	2.87
はなやさい (ﾌﾟﾛｯｸﾀｰ)	0.53	4.5	2.39	2.8	1.48	46.7	24.75	4.1	2.17
レタス (含サラダ菜)	7.09	6.1	43.25	2.5	17.73	6.4	45.38	4.2	29.78
ねぎ	0.423	11.3	4.78	4.5	1.90	8.2	3.47	11.5	4.86
わけぎ	2.62	0.2	0.52	0.1	0.26	0.1	0.26	0.3	0.79
その他のゆり 科野菜 (あさつき)	1.57	0.9	1.41	0.1	0.16	0.1	0.16	1.8	2.83
セロリ (セルリー)	0.29	0.4	0.12	0.1	0.03	0.3	0.09	0.4	0.12
トマト	0.21	24.3	5.10	16.3	3.42	25.1	5.27	25.0	5.25
ピーマン	0.385	4.4	1.69	2.0	0.77	1.9	0.73	3.7	1.42
なす	0.074	4.0	0.30	0.9	0.07	3.3	0.24	5.7	0.42
その他のなす 科野菜 (とうがらし)	0.55	0.2	0.11	0.1	0.06	0.1	0.06	0.3	0.17
きゅうり	0.139	16.3	2.27	8.2	1.14	10.1	1.40	16.6	2.31
スイカ	0.028	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
メロン類	0.037	0.4	0.01	0.3	0.01	0.1	0.00	0.3	0.01
その他のうり 科野菜 (にがうり)	0.12	0.5	0.06	0.1	0.01	2.3	0.28	0.7	0.08
ほうれん草	2.173	18.7	40.64	10.1	21.95	17.4	37.81	21.7	47.15
おくら	0.26	0.3	0.08	0.2	0.05	0.2	0.05	0.3	0.08
未成熟 インゲン	0.058	1.9	0.11	1.2	0.07	1.8	0.10	1.8	0.10



作物名	残留値 mg/kg	国民平均 (体重:53.3 kg)		小児(1~6歳) (体重:15.8 kg)		妊婦 (体重:55.6 kg)		高齢者(65歳以上) (体重:54.2 kg)	
		ff g/人/日	摂取量 μg/人/日	ff g/人/日	摂取量 μg/人/日	ff g/人/日	摂取量 μg/人/日	ff g/人/日	摂取量 μg/人/日
えだまめ	0.05	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01
その他の野菜 (エンサイ)	2.53	14.7	37.19	10.3	26.06	12.2	30.87	13.9	35.17
みかん	1.11	41.6	46.18	35.4	39.29	45.8	50.84	42.6	47.29
なつみかん	0.017	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
なつみかんの 皮	0.40	0.1	0.04	0.1	0.04	0.1	0.04	0.1	0.04
なつみかんの 果実全体	0.23	0.1	0.02	0.1	0.02	0.1	0.02	0.1	0.02
その他の かんきつ	0.13	0.4	0.05	0.1	0.01	0.1	0.01	0.6	0.08
りんご	0.053	35.3	1.87	36.2	1.92	30.0	1.59	35.6	1.89
なし	0.163	5.2	0.85	4.5	0.73	5.4	0.88	3.2	0.52
もも	0.105	0.5	0.05	0.7	0.07	4.0	0.42	0.1	0.01
すもも	0.03	0.2	0.01	0.1	0.00	1.4	0.04	0.2	0.01
うめ	0.575	1.1	0.63	0.3	0.17	1.4	0.81	1.1	0.63
おうとう	1.105	0.1	0.11	0.1	0.11	0.1	0.11	0.1	0.11
いちご	0.592	0.3	0.18	0.4	0.24	0.1	0.06	0.3	0.18
ぶどう	0.643	5.8	3.73	4.4	2.83	1.6	1.03	3.8	2.44
かき	0.203	31.4	6.37	8.0	1.62	21.5	4.36	49.6	10.07
バナナ	0.21	12.6	2.65	11.3	2.37	8.7	1.83	17.7	3.72
グアバ	0.03	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
マンゴー	0.03	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
その他の果実 (いちじく)	0.423	3.9	1.65	5.9	2.50	1.4	0.59	1.7	0.72
茶	6.038	3.0	18.11	1.4	8.45	3.5	21.13	4.3	25.96
合計			265.16		154.60		264.15		272.22

注)・残留値は、登録または申請されている使用時期・使用回数による各試験区の平均値のうち、チアメトキサムの最大値を用いた(参照 別紙 2)。

- ・ff: 平成10年~12年の国民栄養調査(参照 81~83)の結果に基づく農産物摂取量(g/人/日)
- ・摂取量: 残留値及び農産物摂取量から求めたチアメトキサムの推定摂取量(μg/人/日)
- ・とうもろこし、大豆及びてんさいについては、全データが定量限界未満であったため摂取量の計算はしていない。
- ・レタスについては、レタス及びリーフレタスのうち、残留値の高いレタスの値を用いた。
- ・トマトについては、トマト及びミニトマトのうち、残留値の高いミニトマトの値を用いた。
- ・その他のなす科野菜については、ししとう及びとうがらしのうち、残留値の高いとうがらしの値を用いた。
- ・その他の野菜については、れんこん、みょうが、エンサイ、ウコギ、モロヘイヤ及びセージのうち、残留値の高いエンサイの値を用いた。
- ・みかん、夏みかん以外のかんきつ類については、すだち、かぼす及びゆずのうち、残留値の高いすだちの値を用いた。
- ・その他の果実については、いちじく及びアセロラのうち、残留値の高いいちじくの値を用いた。

<参照>

1. 農薬抄録チアメトキサム（殺虫剤）（平成19年5月4日改訂）：シンジェンタジャパン株式会社、2007年、一部公表予定
2. ラットにおける代謝試験（吸収・分布及び排泄）（GLP対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
3. ラットにおける代謝試験（代謝物の同定）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
4. どうもろこしにおける代謝試験（チアゾール環標識）（GLP対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
5. どうもろこしにおける代謝試験（オキサジアジン環標識）（GLP対応）：チバガイギー社（スイス）、1996、1997年、未公表
6. 水稲における代謝試験（チアゾール環標識、茎葉散布）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1997年、未公表
7. 水稲における代謝試験（オキサジアジン環標識、茎葉散布）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1997年、未公表
8. 水稲における代謝試験（チアゾール環標識、箱処理）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1997年、未公表
9. 水稲における代謝試験（オキサジアジン環標識、箱処理）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1997年、未公表
10. なしにおける代謝試験（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1998年、未公表
11. 好氣的湛水土壤における代謝試験（チアゾール環標識）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1997年、未公表
12. 好氣的湛水土壤における代謝試験（オキサジアジン環標識）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
13. 好氣的土壤における代謝試験（チアゾール環標識）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1998年、未公表
14. 好氣的土壤における代謝試験（オキサジアジン環標識）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1998年、未公表
15. 嫌氣的土壤における代謝試験（チアゾール環標識）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1998年、未公表
16. 嫌氣的土壤における代謝試験（オキサジアジン環標識）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1998年、未公表
17. 土壤吸着性試験：日本食品分析センター、1998年、未公表
18. 加水分解運命試験チアゾール環標識（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1998年、未公表
19. 加水分解運命試験オキサジアジン環標識（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1997年、未公表
20. 水中光分解運命試験非標識体：日本食品分析センター、1998年、未公表
21. 水中光分解試験（チアゾール環標識）（GLP対応）：ノバルティスクロッププロテクシ

- ヨン社（米国）、1998年、未公表
22. 水中光分解試験（オキサジアジン環標識）（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（米国）、1997年、未公表
  23. 土壌残留性試験圃場試験（水田状態）：ノバルティスアグロ（株）、1998年、未公表
  24. 土壌残留性試験容器内試験（水田状態）：ノバルティスアグロ（株）、1998年、未公表
  25. 土壌残留性試験圃場試験（畑地状態）：ノバルティスアグロ（株）、1998年、未公表
  26. 土壌残留性試験容器内試験（畑地状態）：ノバルティスアグロ（株）、1998年、未公表
  27. チアメトキサムの作物残留試験成績：（財）残留農薬研究所、2003年、未公表
  28. チアメトキサムの作物残留試験成績：北興化学公表（株）、2003年、未公表
  29. チアメトキサムの作物残留試験成績：（株）トモノアグリカ、2003年、未公表
  30. チアメトキサムの作物残留試験成績：ノバルティスアグロ（株）、2003年、未公表
  31. チアメトキサムの作物残留試験成績：シンジェンタジャパン（株）、2003年、未公表
  32. チアメトキサムの作物残留試験成績：（株）化学分析コンサルタント、2003年、未公表
  33. チアメトキサムの作物残留試験成績：シンジェンタジャパン（株）、2006年、未公表
  34. 一般薬理試験：（財）食品薬品安全センター、1998年、未公表
  35. ラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：ボゾリサーチセンター、1996年、未公表
  36. マウスを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：ボゾリサーチセンター、1996年、未公表
  37. ラットを用いた急性経皮毒性試験（GLP 対応）：ボゾリサーチセンター、1996年、未公表
  38. ラットを用いた急性吸入毒性試験（GLP 対応）：（財）残留農薬研究所、1996年、未公表
  39. CGA322704 のラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
  40. ラットを用いた急性神経毒性試験（GLP 対応）：コーヴァンスラボラトリーズ社（米国）、1997年、未公表
  41. ウサギを用いた眼一次刺激性試験（GLP 対応）：ボゾリサーチセンター、1996年、未公表
  42. ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験（GLP 対応）：ボゾリサーチセンター、1996年、未公表
  43. モルモットを用いた皮膚感作性試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1995年、未公表
  44. ラットを用いた飼料混入投与による反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
  45. 残留農薬安全性評価委員会からの要望事項に対する回答書（チアメトキサム）：シンジェンタジャパン（株）、2004年、未公表
  46. ビーグル犬を用いた飼料混入投与による 90 日反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
  47. ラットを用いた飼料混入投与による 90 日反復経口投与神経毒性試験（GLP 対応）：コーヴァンスラボラトリーズ社（米国）、1998年、未公表
  48. ビーグル犬を用いた飼料混入投与による 12 ヶ月慢性毒性試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
  49. ラットを用いた飼料混入投与による 24 ヶ月慢性毒性/発癌性試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表

50. マウスを用いた飼料混入投与による発癌性試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
51. マウスを用いた2世代繁殖試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
52. ラットを用いた催奇形性試験（経口投与）（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
53. ウサギを用いた催奇形性試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
54. 遺伝子突然変異（誘発性）細菌を用いた復帰変異試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1995年、未公表
55. チャイニーズハムスターのV79細胞を用いた *in vitro* 突然変異試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
56. チャイニーズハムスター培養卵巣細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
57. マウスの骨髄細胞を用いた *in vivo* 小核試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1995年、未公表
58. ラット肝初代培養細胞を用いた UDS 試験/DNA 不定期合成試験（GLP 対応）：チバガイギー社（スイス）、1996年、未公表
59. マウス肝初代培養細胞を用いた不定期 DNA 合成試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、2000年、未公表
60. CGA322704 の細菌を用いた復帰変異試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
61. マウスの肝酵素誘導試験（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
62. 肝細胞増殖能の検討（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
63. 肝アポトーシスの組織化学的検査：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1999年、未公表
64. マウスを用いた酸化ストレス関連項目（過酸化脂質と抗酸化物質）の測定：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、2000年、未公表
65. ラットの精子に対する検討（GLP 対応）：ノバルティスクロッププロテクション社（スイス）、1998年、未公表
66. ラットにおける免疫毒性試験（胸腺への影響）：（財）残留農薬研究所、2000年、未公表
67. 食品健康影響評価について：食品安全委員会第 57 回会合資料 1-1（URL：<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai57/dai57kai-siryoku1-1.pdf>）
68. 「チアメトキサム」の食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づく、食品中の残留基準設定に係る食品健康影響評価について：食品安全委員会第 82 回会合資料 1-2（HP：<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai57/dai57kai-siryoku1-2.pdf>）
69. 第 15 回食品安全委員会農薬専門調査会（URL：<http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai15/index.html>）
70. チアメトキサムの安全性評価資料の追加提出について：シンジェンタ ジャパン株式会

- 社、2004年、未公表
71. 第28回食品安全委員会農薬専門調査会（URL：<http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai28/index.html>）
  72. 食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生労働省告示第370号）の一部を改正する件（平成17年11月29日付、平成17年厚生労働省告示第499号）
  73. チアメトキサムの追加提出要求事項に対する回答書：シンジェンタ ジャパン株式会社、2006年、未公表
  74. 食品健康影響評価について：食品安全委員会第153回会合資料1-1-b（URL：<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryoku1-1-b.pdf>）
  75. 暫定基準を設定した農薬等に係る食品安全基本法第24条第2項の規定に基づく食品健康影響評価について：食品安全委員会第153回会合資料1-4（URL：<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryoku1-4.pdf>）
  76. 第5回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第一部会（URL：[http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1\\_dai5/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1_dai5/index.html)）
  77. チアメトキサムの追加提出要求事項に対する回答書：シンジェンタ ジャパン株式会社、2007年、未公表
  78. 第15回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第一部会（URL：[http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1\\_dai15/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1_dai15/index.html)）
  79. 第35回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会（URL：[http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai\\_dai35/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai35/index.html)）
  80. 農薬要覧：日本植物防疫協会、2006年
  81. 国民栄養の現状－平成10年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2000年
  82. 国民栄養の現状－平成11年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2001年
  83. 国民栄養の現状－平成12年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2002年